

人物の気持ちを考えながら読もう

「サーカスのライオン」 川村 たかし

めあて

四の場面のじんぎの気持ちのへん化を考えよう。

場面	小見出し	（ ）の心じよう曲線
一	年取った じんぎ 男の子と 出逢った じんぎ	楽しい・元気がある やる気がある。うれしい い やる気がない 楽しい
二		
三		
四		
五		

↑
 応用紙の下には、既習場面の大事な一文の短冊が貼られています。ここでは、スペースの都合で省略しています。

ライオンの体がぐうんと大きくなった。

足の痛いのもわすれて、昔、アフリカの草原を走った時のように、じんぎはひとかたまりの風になってすっとんでいく。

それを聞いたライオンのじんぎは、ぱつと火の中にとびこんだなあに。わしは火にはなれていきますのじや。

ウォーツ
ライオンのすがたはどこにもなかった。

ひかびかにかがやくじんぎだった
もう、さつきまでのすすけた色ではなかった。

金色に光るライオンは、空を走り、たちまちやみの中に消え去った。

理由

- 男の子をぜつ対に助けたい。
- 明日のサーカスに来てほしい。
- 火の輪くぐりを見てほしい。
- 大好きな男の子を助けるためなら死んでもいい。
- 火の輪をくぐっている気持ちで火の中にとびこんだ。
- アフリカにいるほんとうのライオンにもどった。

勇かななライオンになった。

【6 / 8時間目 指導略案】
 使用するワークシート②⑥
 活動のねらい

少年のために命を省みずに炎に飛び込んでいくじんぎの気持ちの変化を叙述に基づいて読み取ることができるようにする。

1 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。

○ じんぎがサーカスにやる気を出していった三の場面の様子を振り返り、本時のめあてを確認する。

2 学習場面を音読する。

○ じんぎの顔を心情曲線に貼ることで、そこに貼る根拠となったじんぎの気持ちが表れている一文を付せんに書き抜くことを伝え、全員に四の場面を音読させる。

3 じんぎの気持ちについて、自分の考えをもつ。

【発問】四の場面のじんぎの気持ちはどう変わったでしょう。

① 心情曲線にじんぎの顔を置く。

② じんぎの顔の位置を決めた根拠となる大事な一文を付せんに書く。

③ 付せんをワークシートに移動させ、その一文を選んだ理由を書く。

4 じんぎの気持ちについて、話し合う。① ペアで ② 全体で

○ じんぎの気持ちの変化が分かるように、児童の発言を板書で整理していく。

○ 理由の中にじんぎの気持ちを想像した言葉を用いている児童は賞賛する。

○ 児童の発言を基に、少年のために命も省みずに炎に飛び込んでいく勇敢なじんぎへと変化していったことを確認する。

5 四の場面のじんぎの気持ちの変化を考えながら、じんぎの顔の位置を決めて貼り付ける。

○ 話し合い後、大事な一文や選んだ理由が、変わった児童は書き加えることを告げる。

【評価】叙述を基に、じんぎの気持ちの変化をとらえることができる。（イ1）

6 本時の学習をまとめ、次時は五の場面を学習することを知らせる。

○ ワークシートで自己評価をする。